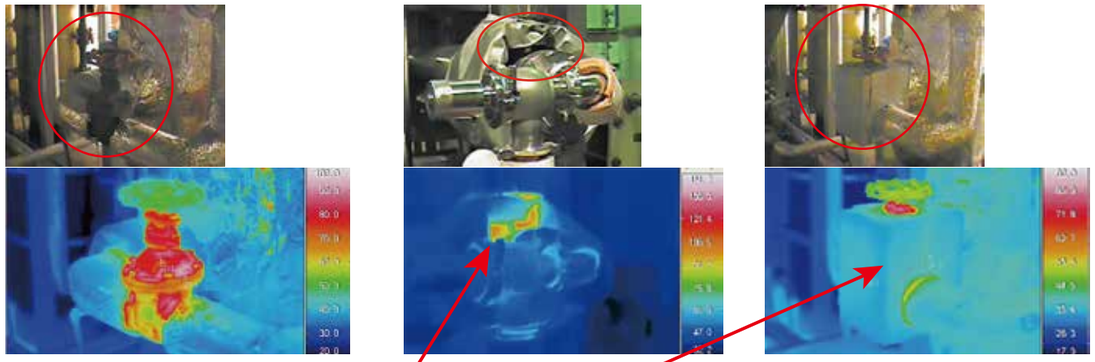
蒸気配管におけるヒートキャップと汎用品の違い

施工前　　汎用品　　ヒートキャップ



汎用品は放熱が確認できますが、ヒートキャップは
立体成形の為、放熱を抑えられ蒸気流量を削減できます！

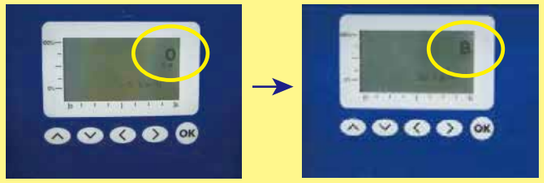
蒸気流量測定結果
（某社製蒸気流量計にて計測）

未保温時　計測結果

開始時　　計測後

30分の計測で蒸気流量が 10kg と確認

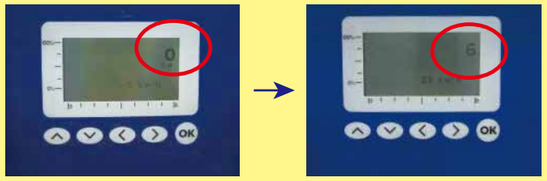
汎用品　計測結果



開始時　　計測後

30分の計測で蒸気流量が 8kg と確認

ヒートキャップ　計測結果



開始時　　計測後

30分の計測で蒸気流量が 6kg と確認

ヒートキャップ施工時の蒸気流量の変化を確認。
未保温時に比べて蒸気流量を 40%削減可能！
20%削減の汎用品施工時に比べ、
削減効果が 2 倍！

ヒートキャップ採用で
大幅な省エネを実現！！

ヒートキャップは現場配管を採寸し、最良の熱効率を得られるように
設計した立体成形の断熱・保温ジャケットです。
省エネと同時に安全対策としても有効で、
かつメンテナンス性も高い製品です！

MC UNITED 株式会社MCユナイテッド

〒950-0023
新潟県新潟市東区松園1丁目9番39号
TEL 025-250-0563
URL：https://www.mc-united.co.jp/

保温・断熱カバーなら

MC UNITED

HC ヒートキャップ

ヒートキャップは最高の品質で
お客様のご要望にお応えする為
一貫生産体制をとっています。
提携の工場で徹底した工程管理
システムと卓越した技術で一つ
一つ丁寧に製作しています。

ヒートキャップ

製作仕様

外被材：シリコンコートガラスクロス /
　　アルミ加エクロス /PTFE コートガラスクロス
内被材：ガラスクロス / シリカクロス
断熱材：ロックウール / ニードルガラスマット / スーパーウール
縫製糸：ガラステフロン糸 /SUS糸 / シリカ糸
取付方法：D カンベルト / マジックテープ

ヒートキャップが選ばれる理由

オーダーメイドによる
立体成型加工！
複雑などんな形状でも対応可能！
着脱もカンタン！！

各製品のメリット・デメリット

ヒートキャップ

メリット
・耐熱、耐薬品性に優れた柔軟な
コーティングクロスを外被材に使用
・誰にでも容易に着脱可能で全天候型保温材
・用途に合わせて適切な材料、構造で
製作する事が出来る
・耐久性に非常に優れている
（※使用環境によって耐久期間は異なります）
・完全受注制、立体成型タイプの為、
断熱効果が非常に高い

デメリット
・完全受注制の為、価格が割高となる
・一品一様の為、納品まで
時間がかかる

施工後 熱計測画像

ヒートキャップはぴったり施工できるので、放熱している箇所は見当りません！

汎用品

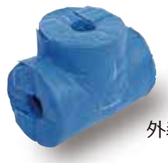
メリット
・価格が安価

デメリット
・製法上の理由により部分的に保温材を
維持できない
・200℃以上の高温には不向き
・規格品しかない

施工後 熱計測画像

汎用品（巾着タイプ）は 2 枚の座布団を縫付けている為、断熱材の薄い部分から放熱します

NEW!!
抗菌対応
ヒートキャップ



メリット
◆ ホコリが付きにくく、水洗いも出来ます
外装材、内装材にフッ素樹脂：PTFE シート（テフロン）を採用、
このフッ素樹脂の性能が衛生的な環境を生み出します。
◆ 断熱材繊維の漏れの軽減
テフロンは耐久性に優れ、紫外線でも劣化しない特性を持っています。
テフロンシートで断熱材を包み込むことで、断熱材繊維の漏れを防止します。
（温度帯によってはゴム素材などの無繊維断熱材を使用します）

デメリット
・完全受注制の為、価格が割高となる
・一品一様の為、納品まで時間がかかる

各製品の比較

	ヒートキャップ	抗菌対応	汎用品
納入価格	△	△	○
施工後放熱量	◎	◎	△
発塵性	○	◎	○
作業性	◎	◎	○
耐久性	◎	◎	○

抗菌対応ヒートキャップだけのポイント！！

ゴミが付かない
汚れない！

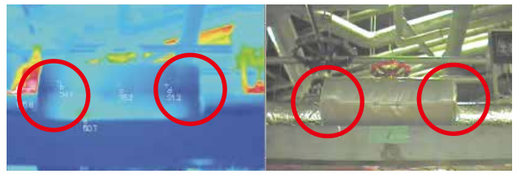
PTFE 製補強材
使用縫製糸も
PTFE100%

外被材に PTFE100%積層シート使用
断熱材・マジックテープ以外はすべて PTFE100%！！
食品工場・薬品工場・
クリーンルームに最適！！

ヒートキャップ と 汎用品 の違い

立体成形タイプ
（ヒートキャップ）

配管サイズにぴったりフィットし
放熱を最小限に抑えることが
できます



ピッタリ施工されているため放熱をしている箇所は見当たらない！

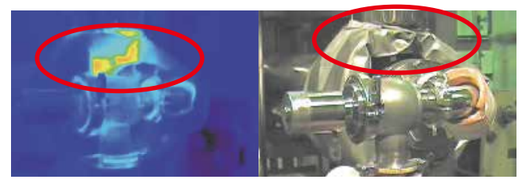
隙間からの放熱がない為、
断熱効果が非常に高い！！

メリット
◎耐久性に非常に優れている
◎高温にも対応可能安全使用温度 1000℃
◎用途に合わせて適切な材料・構造で製作できる
◎誰にでも容易に着脱可能で全天候型保温材

デメリット
△完全受注制のため価格が割り高になる
△一品一様のため納品まで時間がかかる

巾着タイプ （汎用品）

２枚の座布団を縫い合わせて
製作するタイプ
紐で結束して放熱を抑えます



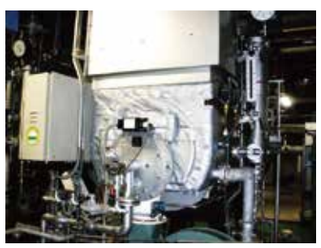
立体成形タイプに比べて放熱をしている箇所が多いことが確認できる

２枚の座布団を縫い付けている為、
断熱材の薄い部分から放熱してしまう！

メリット
○価格が立体成形タイプに比べて安価
○汎用品のため納品が比較的早い

デメリット
△製法上の理由により部分的に保温材を
維持することができない
△高温の場所には不向きである
△規格品のみのため施工場所が限られる

立体成形タイプ（ヒートキャップ）施工例



ヒートキャップならどんなに複雑な形状でも製作することが出来ます！